

見 積 競 争 の 公 告

国立大学法人筑波大学において、次のとおり見積競争を実施します。

1. 見積競争に付する事項

- (1) 請 負 件 名 スマート実験管理システム開発業務委託 一式
- (2) 業 務 内 容 仕様書のとおり
- (3) 履 行 期 限 令和7年11月28日
- (4) 履 行 場 所 仕様書のとおり

2. 仕様書等関係書類交付方法

仕様書等関係書類は、本公告に添付する。

3. 見積書の提出場所等

- (1) 場 所 茨城県つくば市天王台一丁目1番1
国立大学法人筑波大学財務部契約課
- (2) 連 絡 先 (担当) 契約第三担当 電話番号 029-853-5099
- (3) 見積書提出期限 令和7年9月16日 11時00分
見積競争結果については、電話等により行う。

4. 見積の方法

- (1) 国立大学法人筑波大学契約事務取扱細則及び製造請負契約基準を熟知し、仕様書及び契約条項を承諾の上、見積るものとする。
- (2) 契約決定に当たっては、見積書に記載された金額に10パーセントに相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。）をもって契約金額とするので、見積者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の110分の100に相当する金額で見積るものとする。

5. 見積競争に参加する者に必要な資格

- (1) 国立大学法人筑波大学財務規則施行規程（以下「規程」という。）第46条の規定に該当しない者であること。なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別の理由がある場合に該当する。
- (2) 規程第47条の規定に該当しない者であること。
- (3) 国の競争参加資格（全省庁統一資格）又は国立大学法人筑波大学の競争参加資格のいずれかにおいて令和7年度に関東・甲信越地域の「役務の提供等」又は「物品の製造」の「A」、「B」、「C」又は「D」等級に格付けされている者であること、又は当該資格を有しない者であって、過去1年以内に本学との取引実績を有する者であること。
- (4) 契約担当役から取引停止の措置を受けている期間中の者でないこと。

6. 契約の方式

- (1) 最低価格の見積書を提出した者及び次順位者を契約予定者として、価格交渉を行う。
- (2) 契約予定者との価格交渉により、本学の希望価格の範囲内において最低価格を提示した契約予定者を契約の相手方とし、契約金額を決定する。

以 上

令和 7 年 9 月 8 日

国立大学法人筑波大学
契約担当役
財務担当副学長 氷見谷 直紀

見積書提出の注意事項

- 1 見積書提出期限 令和7年9月16日 11時00分
(郵便(書留郵便に限る。))又は宅配便(以下、「郵送等」という。)で
発送する場合には提出期限までに必着のこと)
提出場所 〒305-8577
茨城県つくば市天王台一丁目1番1
国立大学法人筑波大学財務部契約課 契約第三担当
電話番号: 029-853-5099
- 2 見積書作成の注意
 - (1) 見積金額は算用数字を用いて明確に記入すること。
 - (2) 住所氏名を記入し押印すること。
 - (3) 日付を必ず記入すること。
- 3 上記注意事項に適合しない見積書は無効とすることがある。
- 4 契約決定に当たっては、見積書に記載された金額に当該金額の10パーセントに相当する額を加算した金額(当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。)をもって契約金額とするので、見積者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の110分の100に相当する金額を見積書に記載すること。
- 5 いったん提出された見積書は引換え、変更、取消しをすることができない。
- 6 競争参加資格のための確認書類
この見積競争に参加を希望する者は、競争参加資格の確認のための書類を見積提出期限までに提出すること。
なお、本学職員から当該書類その他公告において求められた条件に関し、説明を求められた場合には、競争加入者又は代理人の負担において完全な説明をしなければならない。
 - ・ 令和7年度に係る一般競争(指名競争)参加資格審査結果通知書
(全省庁統一資格又は国立大学法人筑波大学の競争参加資格)の写し
又は過去1年以内に本学との取引実績を有することを証明する書類・・・・・・1部
- 7 この契約に必要な細目は、以下によるものとする。
 - ・ 国立大学法人筑波大学契約事務取扱細則
<https://www.tsukuba.ac.jp/about/disclosure-ho-kisoku/s-03/>
 - ・ 製造請負契約基準
<https://www.tsukuba.ac.jp/about/bid-contract/#kijun>

仕 様 書

1. 請負件名 スマート実験管理システム開発業務委託 一式
2. 業務内容 別紙のとおり
3. 履行期限 令和7年11月28日
4. 履行場所 国立大学法人筑波大学4E棟311室
5. 支 払 い 検査終了後、適法な請求書を受理した日から起算して40日以内に
支払うものとする。
6. 機密情報の保護
 請負者は、業務遂行に際して知り得た機密情報等を第三者へ洩らし、複製し、目的
 外に利用し、又は持ち出しすることがないよう、守秘義務を遵守すること。
7. その他 (1) この契約に必要な細目は、国立大学法人筑波大学契約事務取扱細
 則及び製造請負契約基準によるものとする。
 (2) その他詳細については、本学教職員と協議の上、決定するものと
 する。
 (3) 本仕様書の内容について確認事項がある場合は、以下の担当者に
 確認すること。

国立大学法人筑波大学 医学医療系 村谷
Tel: 029-853-7645

1. 導入目的

本システム導入の目的は、実験・計測・データ公開のプロセス全体を横断的に連携し、研究データのライフサイクル全体を一元管理することである。

学術変革領域研究（A）「宇宙が映す生命」では、次世代シーケンサーを用いたゲノミクスを中心としたマルチオミックス解析を領域内で大量に実施し、計画研究 A03-2「環境応答の強靱性を司るエピゲノム制御可変域のシステム生物学的探索」ではデータの統合解析を目指している。これまでも、年間約100件程度の解析が実施されており、検体数は年間約1,500件に及ぶ。検体前処理には汎用ヒト型ロボット「まほろ」を使用しており、解析は受託解析機関と連携して実施されている。メインの解析は RNA-seq であり、出力である FASTQ ファイルを研究者に返送する。

従来の共同研究者は、マウスや細胞を用いた実験から得られた検体を発送し、筑波大学のオミックス解析プラットフォームから解析結果を受け取ったのち、データを Gene Expression Omnibus（以下、GEO）や NASA Open Science Data Repository（以下、OSDR）などの公開データベースにアップロードし、データ解析を経て仮説検証を進めているが、本領域の研究により、実験からデータ解析までの管理が必要となる。

2. 開発品の定義

本仕様における、スマート実験管理システム一式とは、以下の通りである。

- (1) システムの仕様書 1 冊
- (2) ソースコード 1 式
- (3) ユーザーマニュアル 1 冊

3. 性能及び機能に関する要件

以下の要件をすべて満たすこと。

(1) 実験条件管理

- 1. 標準化されたWebフォームにより実験条件を入力できること。
- 2. 実験タイプ別テンプレート（例：マウス実験／細胞培養実験）を備えること。
- 3. プルダウン選択等により入力支援を行い、必須項目の漏れを防止できること。
- 4. 過去の実験条件を検索・参照・複製できること。

(2) サンプル管理

- 1. サンプル情報を自動的に連携できること。
- 2. 配送情報を記録できること。

(3) 計測データ管理

1. 実験情報と連携できること。
2. サンプルIDで実験条件を取得できること。
3. 計測条件を記録できること。
4. 計測結果を統合管理できること。
5. FASTQファイルに関する情報をアップロードできること。
6. 実験条件とのリンクを保持できること。

(4) メタデータ管理・公開

1. 実験・計測情報から必要項目を自動抽出し、メタデータを生成できること。
2. GEO／OSDR形式に自動変換できること。
3. アップロード形式に沿ったメタデータファイルを出力できること。

4. 非機能要件

1. セキュリティ対策（認証・認可）を実装すること。
2. 可用性を確保すること。（バックアップ、冗長化等）
3. 性能要件を満たすこと。（レスポンスタイム、同時接続数等）